女子団体総合 悲願の初優勝

全日本学生新体操選手権

山田選手 個人総合で準優勝

フープ＆クラブで息の合った演技をみせる団体メンバー
＝日本ビデオアルバム協会提供

9月14日から16日にかけ、静岡・草薙総合運動場体育館（このはなアリーナ）で、第73回全日本学生新体操選手権大会が開催され、女子団体総合で本学が悲願の初優勝を成し遂げた。

7連覇を狙う絶対王者日本女子体育大学を前に本学は、「ボール」で息の合った圧倒的な演技を見せ34・050という高得点をたたき出すと、その勢いのまま2日目の「フープ&クラブ」でも高難度の技をスピード感をもって演じきり、両種目で優勝。創部初の総合優勝を引き寄せた。

大会終了後、女子団体キャプテンの千上柚月選手（体育3年）は「初優勝は本当にうれしい。練習の成果を本番で出し切ることができ、自信につながった」と喜びを表した。

また、個人では山田愛乃選手（21ア1年、写真）が個人総合で準優勝、種目別リボンで優勝するなど、本学選手の活躍が光る大会となった。

女子団体総合３位

全日本学生体操選手権

男子２部須﨑選手 ゆか優勝

9月1日から4日にかけて、静岡・草薙総合運動場体育館（このはなアリーナ）で開催された第75回全日本学生体操競技選手権大会において、本学女子体操競技部が団体総合で3位入賞を果たした。

団体総合は、各種目の上位5人の得点の総合点で競われる。種目別では、宗万凜選手（体育1年）が段違い平行棒で3位、楽嶋姫子選手（体育1年）が平均台とゆかでいずれも3位の好成績を収め、団体総合3位に結び付けた。

2部で出場した男子は、須﨑海斗選手（体育3年）がゆかで14・000の高得点をたたき出して見事種目別優勝に輝いたほか、つり輪でも2位となり個人総合4位をつかみ取った。須﨑選手の活躍で、団体総合では3位入賞を収めた。

メダルを獲得した体操競技部のメンバー

諏訪間選手 逆転で優勝

全日本学生レスリング　フリースタイル

テイクダウンを狙う諏訪間選手（赤）

全日本学生レスリング選手権大会フリースタイルが10月13・14日の2日間、東京・駒沢体育館で開催され、65㌔級で本学の諏訪間新之亮選手（体育3年）が一昨年の前回大会70㌔級に続き優勝を果たし、見事大会2連覇を達成した。

準決勝まで圧倒的な強さで勝ち進んだ諏訪間選手。迎えた決勝では、先制点を取ったものの逆転され、苦しい展開で第1ピリオドを終えた。しかし、第2ピリオド開始直後にタックルが決まりテイクダウンに成功。その後も得点を重ね5―2で決勝戦を制した。

優勝者インタビューで諏訪間選手は「苦しい展開の試合もあったが、日ごろからあらゆる場面を想定し練習していたことで、焦らず試合をすることができた」と話した。

また、79㌔級に出場した奥井真吉選手（体育3年）は、危なげなく準決勝まで進むも、惜しくも敗れ3位。悔しさをにじませる結果となった。

65㌔級

奥井選手 悔しい3位

79㌔級

箱根駅伝 50回目出場！

６年連続予選会突破

懸命の走りを見せる本学選手ら＝月刊陸上競技提供

第98回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会が10月23日に東京・立川市で開催され、本学は10位でゴールし、6年連続50回目となる本戦出場を決めた。記録は10時間45分41秒。

昨年に続き感染防止の観点から無観客とし、陸上自衛隊立川駐屯地内を周回するハーフマラソン（21・0975㌔）で実施。出場権の10枠をかけ41校484人が一斉スタートした。

起伏のない周回コースということもあり高速レースが予想されたが、当日は強風が吹き荒れ、レース展開を大きく左右した。本学はエースのライモイ・ヴィンセント選手（21ア4年）が終始先頭集団を引っ張り、個人4位と圧巻の走りを見せたほか、続く主力選手が30位、41位と続いた。チームは前半好位置につけるも、次第に悪条件の影響を受け突破ラインぎりぎりの全体10位に滑りこんだ。

6年連続の出場を決め、添田正美監督は攻めの走りで挑んだが、裏目に出てしまった。今回の経験を本戦でのシード権獲得につなげたい」と述べ、木樽杏祐主将（体育4年）は「失うものはないので挑戦者として挑みたい」と本戦へ意気込んだ。

本戦は来年1月2・3日に行われる予定。本学はスポーツ情報サイト「スポ魂」を通じてエントリー情報などを随時更新していく。

ヴィンセント選手 個人4位

日本学生陸上対校選手権

回転投法で砲丸に力を加える奥村選手

9月17日から19日にかけて天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会が埼玉・熊谷スポーツ文化公園で開催され、男子砲丸投で奥村仁志選手（体育3年）、女子100㍍ハードルで玉置菜々子選手（体育3年）がそれぞれ準優勝を果たした。

奥村選手は、3投目を終えた時点でトップに立ち、上位8人で行う4投目以降の決勝へ進出。その後は思うように記録は伸ばせなかったものの、昨年から一つ順位を上げ2位に輝いた。

玉置選手は、予選から順当に勝ち進み決勝へ。迎えた決勝では、大会記録に迫る走りを見せるも優勝へはあと一歩及ばず、惜しくも2位でフィニッシュした。

このほか、男子十種競技で原口凛選手（体育4年）が3位となり表彰台に上がった。

奥村選手が準優勝

男子 砲丸投

玉置選手2位無念

女子 百障害

玉置菜々子選手

7年連続10度目優勝

日本学生選手権 マーメイドカップ

優勝に喜びの表情を見せる選手ら

（マーメイドカップ）が9月18日、横浜国際プールで開催され、本学はチームで7年連続10度目の優勝を果たした。

本学シンクロナイズドスイミング部は、大学で競技を始めた選手から世界大会に出場する選手まで幅広く所属している。チーム種目では個々の技術の差を埋めるため、選手同士でサポートし合いながら大会に向け練習を重ねてきた。

本番ではQueenの曲に乗せ、マイクを持つ振付などを取り入れた演技で4分間を泳ぎ切り、順位が発表されると選手らは喜びの表情を見せた。

鈴木・小林ペア デュエット3位

デュエットでは鈴木深結選手（体育4年）・小林唄選手（体育1年）のペアが3位に入るなど活躍を見せた。

第97回日本学生選手権水泳競技大会アーティスティックスイミング競技

目指せ！国士舘から世界へ

スマイルジャパンことアイスホッケー女子日本代表といえば、中村亜実選手（平成22年文学部卒）のソチや平昌五輪での活躍が記憶に新しいですが、その中村選手も所属したＳＥＩＢＵプリンセスラビッツで、現在、２０２２年北京冬季五輪代表の候補として期待されているのがＤＦの関夏菜美選手（体育３年）です。年末の代表発表を控えて今の心境を聞きました。

アイスホッケー女子
関 夏菜美さん
（体育学部3年）

北京五輪代表へ向け再始動

所属チームでは今季から副キャプテンを担っている
＝ＳＥＩＢＵプリンセスラビッツ提供

メダル獲得へ導ける選手に

―スマイルジャパンが北京冬季五輪の出場権を獲得されました。

はい、今回は世界ランキング6位に入ることができたので、最終予選を待たずに出場を決めることができました。

―代表でもU18から長く活躍してきた関さんですが、現在けがで戦線を離れているとか。

練習中に脚のじん帯を損傷してしまい、10月の日本リーグまでの復帰を目指してリハビリとウエートトレーニングの毎日です。（代表から外れたのは）私のホッケー人生の中で初めての「挫折」でした。自分自身を見つめなおすきっかけにもなりましたし、これをいい時期ととらえて成長したいと思っています。

―アイスホッケーとの出合いは？

実家は札幌なのですが、父が趣味でアイスホッケーをしていたのがきっかけで小学1年生から始めました。そこから代表入りを目標に釧路市内の高校に進学し、釧路のチームに入団しました。

―現在は東京のチームでプレーされていますね。

強豪チームで自分を厳しい位置におくことが私には必要かと思い、国士舘大学入学と同時にSEIBUプリンセスラビッツに入団しました。日本一を何度も経験しているチームだけあって、みんながプライドと覚悟を持って高めあっている環境なので、ここでプレーできてよかったと思っています。

―大学生活はいかがですか。

1年次はこどもスポーツ教育学科だったのですが、代表合宿や大会などで単位取得が難しくなるため、先生のアドバイスをいただいて、2年から体育学科に転科しました。

今は体育学科だからこそできる研究がしたいです。ポジションごとのスコア率や、スケーティング技術の研究など、ホッケーの技術向上につなげていきたいです。

―一選手としてのビジョンはありますか？

守りは堅実でいながら、攻めに関しては引き出しが多いプレーヤーでありたいです。攻めのタイミングで、みんなが予想のつかないようなことをポンとできる選手になりたい。それとともに、失敗してもいいからチャレンジする人でいたいと常に思っています。

―国士舘アスリートにメッセージを。

今年、東京五輪が開催されて、やっぱりスポーツの力はすごい、人に勇気を与える力があると改めて感じました。頑張っているスポーツの分野はそれぞれですが、皆さんもその力を忘れずに続けていってほしいと思います。

―北京冬季五輪に向けての意気込みは。

アイスホッケーは日本ではマイナーなスポーツなので、北京冬季五輪では女子がメダルを獲って、スポンサーやファンを増やすことに貢献したいです。

私個人としては、代表に選出されることがゴールではないので、チームをメダルに導ける選手になりたいと思っています。

（令和3年9月取材）

全文は大学ホームページ（スポ魂）で公開しています。

ラグビー新リーグで「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」に協力

観客救護をサポート

本学はこのほど、来年1月に発足するラグビー新リーグ「ジャパンラグビーリーグワン」に所属する「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」にメディカルサポートとして協力することが決まった。

同リーグでは選手のみならず観客・関係者の「安全・安心」な大会開催を実現するため各試合に医療従事者の配置が必須となることから、さまざまなスポーツ大会などで救護の実績を持つ本学に協力依頼があった。本学は来年の公式戦のうちホストゲームである7試合に医師や救急救命士、体育学部などの学生を派遣する。

10月13日には、本拠地である江戸川区陸上競技場でチーム方針に関する記者会見が行われ、本学との協力体制についても発表された。会見に参加した国士舘スポーツプロモーションセンター・スポーツアドミニストレーターで防災・救急救助総合研究所の曽根悦子講師は本学の救護体制を説明し（写真）、「東京マラソンや今夏に開催された東京2020大会などで培った経験をもとに安全・安心な大会となるよう最大限サポートしていく」と述べた。

プロ野球ドラフト会議 池田選手 千葉ロッテが指名

オンライン記者会見で抱負を語る池田選手

10月11日に開催されたプロ野球ドラフト会議で、硬式野球部の池田来翔選手（21ア4年）が千葉ロッテマリーンズから2巡目で指名された。

指名後のオンライン記者会見で池田選手は「自分が育った地元の球団から2位で指名を受け、うれしい気持ちでいっぱい」と喜びを表し、「一日も早く1軍に定着することが一番の目標」と意気込みを語った。

同席した硬式野球部の辻俊哉監督は、「プロの世界でも結果を出す選手になってくれると思う」とエールを送った。

池田選手は千葉県の習志野高校出身で、身長180㌢、体重90㌔ながら、走攻守にバランスのとれた大型セカンド。逆方向にも長打が打てる右打ちの内野手として、今後の活躍が期待される。

磯谷さん アマ名人に

将棋女流名人戦で初優勝

将棋の女性アマチュア日本一を決める第53期女流アマ名人戦が9月20日、東京・KFCホールで行われ、名人戦クラスで本学の磯谷祐維さん（理工1年、写真）が初優勝を飾った。

磯谷さんは小学3年生で将棋を始め、数々の大会で優勝を果たした。

今回は、「入念な準備ができていたので優勝しか狙っていなかった」と振り返る。決勝戦は過去の対局で五分五分の強敵だったが「自分らしく攻めの将棋ができた」と喜びを語り、今後の目標はとの問いには「女流棋士になること」と力強く述べた。

今回の勝利を受け、来年3月に開催予定の第44回朝日アマ将棋名人戦全国大会に女性代表として出場する予定。

東京マラソン 来年3月に延期

10月17日に開催が予定されていた「東京マラソン2021」が来年の3月6日に延期となった。

昨年3月の延期に続き2回目で「東京マラソン2022」は中止とした。

本学は2007年の第1回大会から沿道救護チームを派遣するなど、同大会の協賛団体として大会運営をサポートしている。

活躍するスポーツ

《大学》
【レスリング】
●世界選手権（10／2～10）
男子フリースタイル57㌔級ベスト8　阿部破弥（職員）
【ハンドボール】
●関東学生秋季リーグ戦1部（9／4～10／17）
2位　国士舘大学
《中学・高校》
【柔道】
●第52回全国中学校柔道大会（8／22～25）
男子団体
優勝　国士舘中学校
男子個人
81㌔級
優勝　竹吉瑞樹（中学3年）
90㌔超級
3位　山本由聖（中学3年）

4年生の皆様へ 国士舘大学同窓会入会のご案内

会員証

国士舘大学同窓会は、昭和49年の設立以来、会員の親睦互助を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的に活動してまいりました。会員数は現在約140,000人。全国に52支部を設立し、会員相互の連携・交流事業を通して絆を深めています。学園祭・就職支援など在学生会員をサポートしています。
卒業後も母校国士舘の同窓生として、後輩たちの道しるべに…

＜母校、在学生に対する諸事業＞
□卒業記念品の贈呈
□学園祭、学生諸行事への支援、地方父母懇談会開催時の協力 ほか
□割引率の高い学生総合保険の紹介（学費納入者が万一の場合の学費補償、疾病、傷害、賠償責任が補償されます）
□在学生のための就職支援を行う会員団体への援助（支部就職支援委員会、楓教育会など）
□母校記念事業募金の支援（同窓生への協力呼びかけ、行事企画参加など）
□箱根駅伝、各種スポーツへの支援

2021年9月下旬に「同窓会入会のご案内」をお送りしました。皆様のご入会をお待ちしています。

国士舘大学同窓会
https://www.kokushikan-dousou.jp/

国士舘大学同窓会本部 Facebook
https://www.facebook.com/kokushikan.dousou
お問い合わせ　同窓会事務局：03-3413-7303

国士舘大学・中学・高等学校保護者の皆さまへ
学生総合補償制度のご案内

さまざまなリスクを24時間補償

団体割引20%適用

○学校内やレジャー、アルバイト中のケガや第三者への賠償責任、扶養者に万が一の事故があった場合の学資費用まで補償。

○病気の補償有りのコースは新型コロナウイルス感染症での入院費も補償します。

1回の手続きで卒業予定日まで補償（途中加入も可）

お問い合わせ先：
株式会社国士舘メンバーズ
TEL：03-6804-0840